

国立研究開発法人科学技術振興機構 殿  
(参画機関の場合は中核機関宛て)

開発実施機関名: 株式会社〇〇〇〇  
部署・職名: 〇〇研究所 所長  
契約者名: 〇〇 〇〇

無形固定資産取得報告書  
(50万円以上)

研究成果展開事業(先端計測分析技術・機器開発プログラム)

開発課題名: 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇の開発

チームリーダー名: 〇〇 〇〇

物品使用者名: 〇〇 〇〇〇

下記の無形固定資産を取得しましたので、報告します。

【物品使用者名】  
チームリーダー、サブリーダー、分担開発者のい  
ずれか該当する方を記入してください。

【契約者名】  
経理責任者等、物品についての契約権  
限のある役職の方を記入してください。

報告対象期間: 自 令和 年 月 日  
[検収ベース] 至 令和 年 月 日

番号	品名	型番	メーカー	取得金額(円)	契約日	検収日	支払日	設置住所 設置場所	備考
1	〇〇〇ソフト	SSS	(株)〇〇〇〇	5,000,000				〇〇県〇〇市〇〇1-1-1 株式会社〇〇〇〇 〇〇研究所	
2	△△△ソフト	ABC	〇〇〇〇(株)	1,500,000				〇〇県〇〇市〇〇1-1-1 株式会社〇〇〇〇 〇〇研究所	
3	□□□ソフト	DFG	(株)〇〇〇	500,000				〇〇県〇〇市〇〇1-1-1 株式会社〇〇〇〇 〇〇研究所	
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
			合 計(円)	7,000,000					

※報告書作成にあたっての留意事項

- 50万円以上の無形固定資産を取得した場合に記入してください。(固定資産の定義は、企業会計上のものと同一です。なお、本報告書記載の資産については研究機関側で資産計上する必要はありません。)
- 企業会計上、研究開発費用として認識される取得金額50万円以上の試作品(ソフトウェア含む)は、固定資産には含まれません。
- 汎用性の無いソフトウェア(プログラム開発)は無形固定資産としての報告の必要はありません。
- あらかじめ機器・設備等に付属しているソフトウェアについては、有形固定資産の取得金額の一部として計上してください。
- 報告の対象がない場合は、その旨を報告してください。(報告書の提出は必要ありません。)**
- 同一物品につき複数個購入の場合は、全て行を分けて列記してください。
- 「メーカー」の欄には、販売店ではなく、製造メーカーを記入してください。
- 「取得金額」の欄には、消費税込みの金額を記載してください。
- 「検収日」とは、仕様通りの物品等が納入され正常に稼働したことを確認した日とします。
- 資産の内容を確認するため、納品書の写し(納品書で検収日、税込み価格及び型番 が確認できない場合は、別途確認できるもの(請求書・仕様書等))を各資産毎に添付してください。**
- 利益排除を行っている場合には、その根拠資料を添付してください。